

おでかけだより

新春号 NO. 75

2023年1月1日



発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』

〒167-0051

杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103

TEL 03-6425-8584

FAX 03-5397-1755

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



謹んで新春をお祝い申し上げます

理事長 秋山 糸織

おでかけサービス杉並は、2022年も積極的な取り組みを行ってまいりました。「移動サービス」、ちょっとした困り事をお手伝いする「NEKOの手サポート」、外出の相談窓口「杉並区外出支援相談センターもび〜る（区受託）」、でかけたくなる場所としての「ゆうゆう桃井館・ゆうゆう善福寺館（区受託）」、「けやきの見える家」。これらの「部門間交流」を計画に盛り込み、さまざまな場面で学びあい、新鮮な気づきを持ち帰って日々の仕事に磨きをかけました。法人のめざす「誰もが自由に外出でき、安心して暮らし続けられるまちづくり」を共有した1年でした。

法人が活動を始めた2005年から、外出をめぐる状況は刻々と変化してきましたが、今、これまでにない形の波がきていると感じた年でもありました。

3月より「杉並区地域公共交通計画」を策定する会議に委員として、福祉交通を必要とする方の声を届ける機会をいただきました。交通は100年に一度の転換期といわれ、脱炭素化の取り組みとして車の燃料をガソリンから電気や水素等へ切り換える流れが推進されていきます。カーシェアリングの普及、高齢者の運転免許返納等によるマイカー所有率の低下。ドライバー不足の補充や、安全のための自動運転車両の導入の加速など。先のことと思っておりましたが、そう遠くない未来に大きな変化が続くと予測されています。その時におでかけサービス杉並ができることは何か。利用してくださる皆様との日々に向き合いつつ、さらにこれまでとは違う発想をもって臨まなければならないと身の引き締まる思いです。

本年もメンバー一同、一層の努力をしてまいりますので、どうぞ皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



リレートーク

認知症予防教室

仲間とつくりおとこの台所&ウォーキング

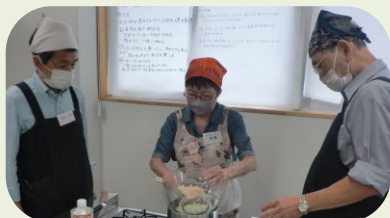
この教室は、男性限定で、クッキングとウォーキングを行います。

自分が食べたい、そして作りたいメニューをみんなで出し合い、話し合いをして決めて、買い物も自分たちでおこないます。

はじめは遠慮もあり、なかなか意見も出ませんでした。回を重ねるごとにいろいろアイデアも出て、スムーズにできるようになっていきました。

食を通して新しいつながりもでき、これからは自主グループとして活動を行っていきます。

そんな彼らをこれからもサポートしていきたいと思えます。



理事 野澤 国子





「NEKOの手サポーターのつどい」に参加して

NEKOの手サポーター 高橋 千佳子

12月13日(土) コミュニティふらっと阿佐谷へ出かけてきました。「コミュニティふらっと」にも少し興味がありました。私は、登録はしているものの、まだ一度も活動したことがありませんでしたので、もっと詳しい活動内容を知りたいと常々思っていました。

また、自分の住む地域でも、この活動を皆さんに知っていただき助けられたら良いと考えています。つどいがあると知り、より具体的な活動の例をお聞きできると思い参加させていただきました。当日は、参加者の自己紹介→ネコの手のはじまり→これまでの活動→どんなサポートをしてみたいか?→今後、地域の担い手として求められることは何か? など、非常に盛りだくさんながら、とても皆さんから活発な発言が相次ぎ、楽しくも有意義な議論に参加させていただきました。

参加されたケア24の職員さんのお話も大変勉強になりました。そして、これまで活動されている方々のお話からも熱意が伝わってきました。少しでも、みんなが安心して暮らせるよう、地域の担い手として踏み出していければ嬉しいです。



もび〜るセミナー（支援者向け）

「最近のタクシー事情と移動サービスの選び方」に参加して

ゆうゆう善福寺館 吉田 優子

タクシーを予約しようと電話をかけても繋がらない、配車できる車がないと断られて困っている、というケースが最近多く聞かれます。駅にもタクシーが少なく、流しのタクシーもつかまえていく状況となっています。その原因は、コロナの影響などでタクシー乗務員が減少し、タクシーの需要と供給が合っていないこと、アプリを使ったタクシー配車が主流になってきたことだそうです。

配車アプリでは、事前におよその金額がわかる、スマホの地図上で乗車位置を知らせることができる、運転手に直接連絡できる機能がある、など便利な点があります。スマホを持っていない、慣れていない人には配車のサポートが必要ですが、近くで一緒に操作をしなくても、離れた場所からアプリを操作してタクシーを呼ぶことも可能です。スライドドアや車いす対応の選択、降車時の現金払いもできるそうです。

今後は、タクシーの配車相談がますます増え、サポートの需要は高まっていくでしょう。

どんな方にも簡単に使える配車専用の端末や、音声で予約できるサービスなどの普及にも期待したいと思いました。

移動サービスの選び方のお話では、「利用者のご家族の方に知ってもらい、楽しいおでかけにたくさん利用していただきたい」という言葉が心に残りました。

